



分科会 10 長期実務実習元年 —実りある実習を求めて—

W-10-08 病院での実務実習を終えて

たかた ゆうこ
高田 裕子

帝京大学薬学部 5年生

【はじめに】

病院実習に行く前までは、病院で働く薬剤師の業務は調剤と服薬指導とっており、またチーム医療という言葉は知っていても、そこに薬剤師がどのように関わり、他の医療従事者とどのように連携しているかは、全く想像できませんでした。さらに OSCE に合格したものの、事前実習の内容が臨床現場で実際に役に立つのかという不安な気持ちもありました。一方、患者さんと接することで貴重な体験ができるという期待や、患者さんのために役に立ちたいという思いもありました。このような不安や期待などが入り混じった状態で、実習は始まりました。

【実習内容と印象に残ったこと】

実習は、調剤室で3週間、薬務室、治験管理室、医薬品情報室、製剤室でそれぞれ1週間、薬歴室（薬剤管理指導業務）で4週間のスケジュールで行われました。また中央検査部、看護部、放射線診療部、栄養管理室の業務をそれぞれ数日ずつ見学し、他の医療従事者の業務内容を学びました。他にも病棟ラウンドやミーティングなどに他職種の方々と共に参加し、チーム医療におけるそれぞれの職種の役割を知りました。調剤室の実習では計数調剤の錠剤、水剤、散剤や一包化調剤、さらに注射剤のピッキングに関し、処方せんの発行から監査までの一連の流れを見学した後、実際に体験しました。本物の処方せんに基づいた調剤は初めてであり、調剤した薬の先には患者さんがいることを意識しながら行いました。指導薬剤師が私のそばにいない場合は多少不安な気持ちになりましたが、指導者がいなくともしっかりと責任を持って与えられた処方調剤することを意識しながら、取り組みました。やがて、処方せをよく見るのではなく、読むことを心がけるようになり、少しずつですが正確に調剤ができるようになりました。これも、事前実習で基本を身につけてきたおかげでできたと感じました。しかし、正確性だけではなく効率（スピード）も求められるため、現場の状況により臨機応変に対応する必要性も強く感じました。治験管理室では主に治験コーディネーター（CRC）の業務を見学しました。治験に関する講義は大学で受けていましたが、詳細はよく知りませんでした。外来で行う治験で来院された患者さんをCRCが迎えに行き、その後の検査、診察、服薬指導までを付きっきりでサポートしている姿が印象的でした。治験は、CRCの協力無しには実施できないことを感じました。また、治験責任医師のもと、多くの職種の方々が職能を活かしながら治験に協力していることも分かりました。

【チーム医療】

治験以外に薬剤師が他職種と連携するものとして、感染制御チーム（ICT）、栄養サポートチーム（NST）、緩和ケアチーム、褥瘡対策チームがあることを知りました。薬剤師はチームの中で、病院内で採用されている医薬品やその特徴、成分などの情報を速やかに提供することや、医薬品の適正使用の推進、勉強会の実施などを行っていました。また、スキルミックス（異なる職種の業務をできる範囲で担い合うこと）を進めることにより、バイタルサインの確認など薬剤師の職能が広がる可能性も感じました。そのためには、お互いの業務をもっと知り、さらにコミュニケーションを深めることが必要であると思いました。

【実習全体を通して】

実習期間が2.5カ月であることや、まだ5年生ということを考えてみると、すべてのSBOを確実に理解して実習を受けることは難しいと感じました。服薬指導は事前実習などで何度も練習しましたが、実際の患者さんを指導するには多くの医療専門用語や治療法などが飛びかい、大学で学んだ以上の知識が要求されました。特に重症の患者さんを服薬指導するには、より多くの知識と高度なコミュニケーション能力が必要であることを強く感じました。調剤などでは大学での実習が役に立ったと感じることもありました。6年制教育の中において大学で身に付けてきた知識や技能と、実習で薬剤師の方々が求めるレベルとの差を感じ、まだまだ勉強が必要であると痛感しました。他にも、抗がん剤の調製や麻薬の調剤など、今の私が行うには危険と感じるSBOも存在しており、体験という言葉をどのように理解すれば良いか困惑することもありました。

【終わりに】

実習を終えて、病院の中で薬剤師が活躍する場面は数多くあることがとても強く印象に残りました。加えて、薬剤師の役割が薬物療法を通して患者さんを治療することであると実感しました。また、臨床の現場で働くためには、薬学的知識だけでなくコミュニケーション能力や接遇技術なども不足していることを、明確に認識することができました。この貴重な体験を今後どのように活かしていくのかを考え、残りの学生生活で実行することが、今、私にとって大切なことであると感じます。最後になりましたが、病院でお世話になった薬剤師の先生方や職員の皆様へ感謝致します。